

信州大学学術研究院 教育学系 講師または助教
(主担当：教育学研究科 高度教職実践専攻) 公募要領

1. 公募の趣旨・背景

小・中学校の児童生徒数が減少する一方で、特別支援学校、特別支援学級、通級による指導等の特別支援教育の役割は増している。地域校におけるインクルージョンも進展してきており、多様な学びの場での特別なニーズへの対応が求められている。このような背景のもと、特に最近では、異分野・多職種連携を支援する特別支援教育コーディネーターの役割や、学校教育現場での心理支援の役割、そしてチーム学校を体現できる高度な専門性をもった教員養成の必要性が増している。

これらの社会的背景を踏まえて、本学では、専門職大学院において高度な専門性を培うため、特別支援教育分野における上述した専門的業績を有する人材を一般公募する。

2. 職名・人員

講師または助教・1名

3. 所属学系

信州大学学術研究院 教育学系

4. 主担当学部等

教育学研究科 高度教職実践専攻（特別支援教育高度化プログラム）

5. 研究分野

特別支援教育および学校心理学分野

6. 職務

担当授業科目（*は複数教員による分担）

ア. 学 部：特別支援教育概論*、病弱教育課程演習*、卒業研究 など

（松本キャンパスにおいても共通教育科目及び専門科目を担当することがある）

イ. 大学院（高度教職実践専攻）：

特別な教育的ニーズのある子どもの支援体制*、学級づくりと学校づくり*、通常学級における特別支援教育*、特別支援教育コーディネーターの役割と支援、特別なニーズのある子どもの心理学*、特別支援教育教材開発研究*、病弱児の理解と支援*、臨床実践研究とリフレクション（特別支援教育高度化P）Ⅰ～Ⅳ*、高度実践研究とリフレクション（特別支援教育高度化P）Ⅰ～Ⅳ*、教育実践実地研究（特別支援教育高度化P）Ⅰ・Ⅱ* 特別支援教育課題特別研究Ⅰ・Ⅱ*、授業・学級づくりチーム演習*、学校・地域活性化チーム演習*

※担当授業科目の内容や複数教員担当科目の分担については、信州大学シラバスを参照するか、下記問合せ先までお尋ねください。

※教職課程や教員免許制度の在り方についての今後の議論によって授業科目の再編が生じる可能性があります。

7. 応募資格

- (1) 大学院修士課程修了またはこれに相当する教育・研究歴を有すること（博士の学位（取得見込みを含む）を有することが望ましい）
- (2) 教員養成及び教員研修に取り組む意欲を有すること
- (3) 特別支援教育コーディネーターに関係する研究業績を有し、さらに、病弱児の教育・支援もしくは特別なニーズのある児童生徒・保護者の心理支援に関する研究業績を有すること
- (4) 初等教育機関、中等教育機関あるいは教育委員会での勤務経験（非常勤講師を含む）を有することが望ましい
- (5) 学校心理士資格（取得見込みを含む）を有することが望ましい

8. 採用予定日

令和9年4月1日

9. 任期

任期の定めなし

(定年は年齢65歳とし、定年に達した日以後における最初の3月31日に退職する)

10. 待遇

給与：本学規定に基づく年俸制

(国立大学法人信州大学年俸制適用職員給与細則第4条及び第5条適用)

勤務地：信州大学長野(教育)キャンパス(長野県長野市西長野6-1)

勤務形態：常勤，裁量労働制

社会保険等：文部科学省共済組合，雇用保険加入

このほか，国立大学法人信州大学の規定に基づく

11. 提出書類

(1) 履歴書(市販の用紙も可。写真貼付)

*履歴書の様式は，指定しませんが，賞罰について項目のある履歴書をご使用ください。
もし，賞罰について項目がない様式をご使用する場合は，備考欄等に，賞罰について，記載願います。賞罰について，記載のない場合は，面接等で確認させていただきます。

(2) 最終学歴を証明する書類

(3) 研究業績目録(外部資金の獲得実績や申請状況等を含む)

(ホームページ<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/education/news/participants/>から書式をダウンロードし記入すること)

(4) これまでの研究概要を著書・論文などに関連させて記載したもの(1000字程度・書式自由・日本語)

(5) 教育活動歴

ア. 諸学校や社会における特記すべき教育活動歴(講演，研究会，研究授業などにおける助言・指導歴，審議会・協議会などの委員の経歴など)を年月順に記載のこと

イ. 教育に関する資格及び教育上での受賞歴

ウ. 担当授業科目 高等教育機関においてこれまでに担当した授業科目名

エ. 大学院研究科での研究指導歴もしくは研究指導補助歴 主査もしくは副査として学位を取得させた大学院生数(主査の場合，副査としての数も括弧書きで示す)

(6) これからの本学部・大学院での教育に対する抱負を，教育活動歴及びその内容を踏まえて記載したもの(1000字程度・書式自由・日本語)

上記(1)～(6)について，各1通を提出すること。

上記(3)に記載の業績のうち主要な5点について，現物もしくは別刷またはコピーを各1部提出のこと。なお，後日，履歴書および目録記載のすべてについて現物またはコピー，また資格および受賞歴に関する証明書類のコピーの提出を求めることがある。

12. 応募締切

令和8年7月31日(金)消印有効

13. 選考方法

第一次選考(書類審査)を経て，第一次選考合格者に対する第二次選考(面接及び模擬授業)により選抜を行う。(その際の旅費等は応募者の自己負担とする)

※信州大学は男女共同参画を推進しており，業績等(研究業績，教育業績，社会的貢献ほか)及び人物の評価において同等と認められた場合には女性を採用します。ただし，これは性別のみで優先的に採用することを認めるものではありません。

14. 書類提出先

〒380-8544 長野市西長野6-1

信州大学教育学部長 西一夫 宛

(必ず郵便書留とし，表に「教職大学院グループ 教員応募書類在中」と朱書きすること)

15. 問合せ先の e-mail

kyou_saiyol4@shinshu-u.ac.jp

16. 信州大学教育学部のホームページの URL

<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/education/>

17. その他

- ・信州大学では、研究者がその能力を最大限発揮できるよう、研究補助者制度やメンター制度の導入による研究環境の整備を行っています。特に、女性研究者支援として、新規採用の女性教員（常勤）に研究費を支援する「スタートアップ研究費支援」や、育児・介護休業等から研究活動に復帰した際に研究費を支援する「リスタートアップ研究費支援」を実施しています。また、教職員のワーク・ライフ・バランスの推進として、学内保育施設運営、ベビーシッター派遣事業割引券の配付、大学入学共通テスト等における一時保育など男女共同参画へ積極的な取り組みを行っています。
- ・信州大学では、極めて優秀な若手研究者に「Rising Star 教員」の称号を授与し、手当の支給、早期昇進機会を付与するなどの優遇措置を行うことで、最先端の研究を牽引するトップレベル研究者を養成する制度を設けております。
- ・履歴書には賞罰・処分歴等欄を設け、受賞歴と、前科及び懲戒処分歴をそれぞれ記載してください。前科及び懲戒処分歴に該当事項がありながらそれらを記載しない場合は経歴詐称とみなす場合があります、採用取消や懲戒解雇等に繋がる可能性があります。